



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日 東

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所
 コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 和泉 學
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員財務部長(氏名) 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,565	△6.4	935	△55.3	1,017	△52.1	224	△79.5
2019年3月期第3四半期	34,797	△2.1	2,094	△17.3	2,123	△18.7	1,096	△21.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 256百万円(△74.7%) 2019年3月期第3四半期 1,013百万円(△31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	11.71	11.66
2019年3月期第3四半期	57.19	56.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	28,098	17,237	61.3
2019年3月期	28,146	17,395	61.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,233百万円 2019年3月期 17,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2020年3月期	—	11.50	—		
2020年3月期(予想)				11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,200	△3.3	2,000	△18.6	2,100	△16.2	700	△42.0	36.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期3Q	19,340,800株	2019年3月期	19,340,800株
2020年3月期3Q	118,790株	2019年3月期	172,790株
2020年3月期3Q	19,195,261株	2019年3月期3Q	19,168,046株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率引上げや自然災害などの影響をはじめ、米中貿易摩擦、地政学的リスクなどが懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、お客様の節約志向、人手不足の影響、異業種を含めた企業間競争の激化など、引き続き厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループはお客様に当社店舗を選んでご来店いただき、お客様から「ありがとう」をいただくために行動してまいりましたが、天候不順、自然災害などによる影響、お客様の嗜好・行動パターンの変化への対応の遅れ、サービス力の低下により、当第3四半期連結累計期間は厳しい状況が続き、当社における直営店の既存店売上高は対前年比94.3%となりました。

この状況に対応するため、飲食事業におきましては、従業員満足がお客様満足につながるの思いのもと従業員満足を重視するとともに、新規出店を抑え、既存店舗のサービスレベルの向上、人材教育に努めてまいりました。また、外国籍人材を積極的に採用するとともに、研修センター店を中心とした教育訓練の場を充実させることにより、「目の前のお客様を大切に」「お客様に喜んで帰っていただく」ための人材育成に努めております。

アライアンスの展開としましては、お客様の嗜好・行動パターンの変化への対応として、食事業態を強化するため、東京関東圏を中心に焼肉店10店舗、居酒屋1店舗を運営する株式会社シーズライフの全株式を取得致しました。また、株式会社つば八とのシナジーにつきましても引き続き追求しております。

コントラクト事業におきましては、固定客が継続的にご来店される事業形態の特性に対応し、店舗独自の日替わりメニューを充実させることはもちろん、「ステーキフェア」「ご宴会キャンペーン」の実施など、「また行きたくなる」店舗作りを心掛け、各種行事、記念イベント等のケータリング事業の拡大強化にも努めました。

店舗数につきましては、当社におきまして直営店の新規出店が6店舗（12店舗の退店）、フランチャイズへの建売が3店舗（フランチャイズ店から直営店への切り替えが6店舗）あったことにより、当第3四半期連結会計期間末の飲食事業直営店の店舗数は343店舗（前期末346店舗、前年同四半期末346店舗）となりました。コントラクト店につきましては、当第3四半期連結会計期間末のコントラクト店の店舗数は93店舗（前期末93店舗、前年同四半期末93店舗）となりました。また、フランチャイズ店の新規出店が2店舗（15店舗の退店）、直営店からの転換が3店舗（直営店への切り替えが6店舗）あったことにより、当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店の店舗数は258店舗（前期末274店舗、前年同四半期末278店舗）となりました。さらに連結子会社におきましては、当第3四半期連結会計期間末における株式会社紅フーズコーポレーションの店舗は21店舗、めっちゃ魚が好き株式会社は12店舗、株式会社シーズライフは11店舗であり、当第3四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は738店舗、うち、当社の店舗数は694店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、32,565百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は、935百万円（前年同期比55.3%減）、経常利益は、1,017百万円（前年同期比52.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、224百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて47百万円減少し、28,098百万円となりました。この主な要因は、売掛金が292百万円、商品が120百万円増加した一方で、有形固定資産が603百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて109百万円増加し、10,861百万円となりました。この主な要因は、有利子負債が436百万円、未払法人税等が369百万円減少した一方で、買掛金が570百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて157百万円減少し、17,237百万円となりました。減少の主な内訳は、当第3四半期連結累計期間の業績により利益剰余金が224百万円増加した一方で、配当金の支払いが441百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、現時点では2019年9月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,193,349	7,262,701
売掛金	805,825	1,098,717
F C債権	468,559	512,049
商品	323,690	444,203
貯蔵品	23,632	22,714
その他	980,210	968,677
貸倒引当金	△186,539	△215,145
流動資産合計	9,608,729	10,093,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,500,004	4,017,295
その他（純額）	710,241	589,244
有形固定資産合計	5,210,246	4,606,539
無形固定資産		
のれん	5,172,392	5,262,693
その他	27,800	78,996
無形固定資産合計	5,200,193	5,341,690
投資その他の資産		
差入保証金	5,877,276	5,757,684
その他	2,255,310	2,304,033
貸倒引当金	△4,907	△4,881
投資その他の資産合計	8,127,679	8,056,836
固定資産合計	18,538,118	18,005,066
資産合計	28,146,848	28,098,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,882,268	3,453,160
F C 債務	411,302	508,252
1年内返済予定の長期借入金	459,984	427,404
未払法人税等	469,966	100,642
賞与引当金	253,308	68,370
役員賞与引当金	6,304	2,490
資産除去債務	18,618	15,954
その他	2,823,789	3,361,756
流動負債合計	7,325,542	7,938,030
固定負債		
長期借入金	295,068	53,410
退職給付に係る負債	199,055	208,349
資産除去債務	938,703	932,181
その他	1,992,757	1,729,051
固定負債合計	3,425,583	2,922,992
負債合計	10,751,125	10,861,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,772,621	5,772,621
資本剰余金	2,369,672	2,282,570
利益剰余金	9,595,117	9,378,900
自己株式	△365,131	△251,029
株主資本合計	17,372,280	17,183,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,805	50,600
退職給付に係る調整累計額	566	141
その他の包括利益累計額合計	19,371	50,741
非支配株主持分	4,070	4,155
純資産合計	17,395,722	17,237,961
負債純資産合計	28,146,848	28,098,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	34,797,404	32,565,881
売上原価	11,389,337	10,736,224
売上総利益	23,408,067	21,829,656
販売費及び一般管理費	21,313,635	20,894,370
営業利益	2,094,431	935,286
営業外収益		
受取利息	3,460	2,204
受取配当金	12,355	12,485
持分法による投資利益	21,185	—
受取手数料	49,128	44,629
その他	27,419	43,767
営業外収益合計	113,549	103,085
営業外費用		
支払利息	5,286	1,649
持分法による投資損失	—	10,652
支払補償費	76,657	4,744
その他	2,765	3,420
営業外費用合計	84,709	20,466
経常利益	2,123,271	1,017,905
特別利益		
固定資産売却益	2,300	—
受取補償金	26,500	68,480
その他	—	3,000
特別利益合計	28,800	71,480
特別損失		
固定資産売却損	2,262	3,205
固定資産除却損	30,341	36,413
減損損失	192,744	359,361
その他	5,167	2,323
特別損失合計	230,517	401,303
税金等調整前四半期純利益	1,921,555	688,082
法人税、住民税及び事業税	781,263	480,170
法人税等調整額	43,874	△17,097
法人税等合計	825,138	463,073
四半期純利益	1,096,417	225,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	193	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,096,224	224,924

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,096,417	225,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,000	31,794
退職給付に係る調整額	△784	△424
その他の包括利益合計	△82,785	31,370
四半期包括利益	1,013,631	256,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,013,438	256,294
非支配株主に係る四半期包括利益	193	84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用関連会社である株式会社つぼ八は、2019年9月18日付で、直営店運営事業に関する権利義務を、吸収分割によりその子会社であるつぼ八酒類販売株式会社に承継いたしました。

これに伴い、第2四半期連結会計期間よりつぼ八酒類販売株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社シーズライフを子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。